

# 岡山聾学校 コツコツ18年、50万点達成

西日本豪雨では(株)デンソーからの支援も



① PTA 文化部の皆さん。下段右から2番目が岡本菜摘さん ②まずは会社別に仕分け  
③新しい綱で綱引き ④体育祭の応援に駆け付けた(株)デンソーの社員  
⑤幼稚部祭りでは、保護者が一生懸命作ったアトラクションで盛り上がりました

岡山市にある県立岡山聾学校(岡本由美校長・生徒59人)が8月に累計50万点を達成しました。仕分け・集計の担当は、PTA文化部(幼稚部の保護者)の「チャレンジベルの会」です。

PTA文化部は現在10人。「チャレンジベルの会」という名前は、1991年の参加登録時の保護者が「頑張って活動しよう」という気持ちを込めて名付けたのではないかと幼稚部教頭の岡田千登勢先生が教えてくれました。

部長の岡本菜摘さんは、「部長といってもひとりで仕切る仕事ではなく、みんなに協力してもらって、楽しくやっ

ます」と言います。「私たちの活動が子どもたちに還元され、楽しそうに遊んでいる姿を見るのが嬉しい」と岡本さん。

部員からは「私の出身校は小中高とベルマークを集めていなかった。もっと早く知っていたら小さい頃から集めていたと思う。集めていないのがもったいなかった」という声や、自らも同校の卒業生だという方からは「私の在学時にはすでに集めていた。お母さんがマークを切っている姿を見て『これはなあに?』と聞いたらベルマークだった。『切ったらお金に変わるんだよ』とも教えてもらった」というエピソードもありました。

昨年7月の西日本豪雨では、幼稚部と聴力測定室が床上浸水の被害を受け、聾学校に欠かせない防音設備のある聴力測定室は、改修を余儀なくされました。

子どもたちが楽しみにしている、運動会の綱引き用の綱も水に浸かりました。そこで救いの手を差し伸べたのが大手自動車部品メーカー、(株)デンソー(本社・愛知県刈谷市)の社内ボランティアグループ「昼ボラ隊」。生徒の就労に関して連携をとっている経緯があり、社員が電話で状況を聞いた際に、被害を知りました。

「昼ボラ隊」は東日本大震災をきっかけに「昼休みにボランティアをしたい」

有志が集まって結成。これまで14校に計230万点のマークを寄贈してきました。この昼ボラ隊が約16万点のマークを緊急に寄贈、同校はそれを使って新しい綱を買うことができました。

同校は昨年度の特別支援学校援助対象校。ベルマーク財団から短焦点プロジェクターを贈りました。こうした経緯もあり、事前のアンケートには「今後も教育設備充実にお力を貸していただければ幸いです」とありました。岡本校長は「PTAの皆さんの地道な積み重ねや、企業さんなどにお世話になっての50万点達成です。ありがとうございました」と話しました。

## 「ハーバリウム」を作り、「美里絵」を鑑賞

新潟・栃尾の東谷小学校で理科実験教室

名水や日本酒、特大のあぶら揚げで有名な新潟県長岡市の栃尾地域。ここにある市立東谷小学校(笹川勝校長、児童61人)で11月7日、ベルマーク財団の理科実験教室がひらかれました。財団のへき地校支援プログラムのひとつです。今回の講師は、理科教育のベテランで宮崎県都城市在住の村上規代先生と、学校の近くに住む地元のアート家・多田清虹先生です。

多田先生は、枯葉や樹皮など自然の素材を使った張り絵「美里絵(みさとえ)」の創始者。持ち込んだ数十点の作品について説明してくれました。クモの糸やネギの皮など、意外な素材もあり、子どもも先生も驚きです。近くにこんな方がいたとは知らなかったようで、みな興味深げに作品をのぞき込んでいました。

続いて村上先生の指導で「ハーバリウム」を作ります。ドライフラワーを特別なオイルにつけたもので、持ち帰って家でも植物を観察してもらおう狙いです。試験管にオイルを注ぐと、ドライフラワーから何か出てきます。「何でしょう?」と先生。「泡!」「気泡!」と子どもたち。泡が抜けたらオイルが減るので足します。

村上先生は太陽から地球に届く紫外線の話もします。人体には有害ですが目には見えません。でも先生が「忍者えのぐ」と呼ぶインキを練り込んだマントは、最初は無色なのに戸外ではピンク色に変わりました。見えない紫外線に反応したのです。先生からは、同じ仕組みで色が変化する「忍者バルーンスライム」の材料が子どもたちにプレゼントされました。



## 「開いて、洗って、乾かして」動画で説明

日本テトラパック「運動のしくみ」、財団HPからも視聴可能

協賛会社の日本テトラパック(ベルマーク番号17)がHPで動画「日本テトラパックのベルマーク運動のしくみ」を公開しています。ベルマーク財団HPのトップページからも見に行けます。

同社のベルマーク運動は、テトラパッ

クマークのついた紙容器を「開いて、洗って、乾かして」送る方法です。まだテトラパックの紙容器を集めたことがない方も、すでに集めている方も、ぜひご覧ください。

日本テトラパックのHPには、ほかに

も役に立つコンテンツがいっぱい。紙容器専用回収箱の請求シートや、チラシ、リーフレットをpdf形式で公開しているほか、集められた紙容器のその後や、困ったときのQ&Aなども掲載しています。参考にしてみてください。

日本テトラパックの  
ベルマーク運動のしくみ

